

法律学演習Ⅲ

科目ナンバリング SEM-401
必修 2単位

長谷川 陽子

1. 授業の概要(ねらい)

「法とは何か」「なぜ法があるのか」「法と正義はどのような関連があるのか」といった問いに関する考え、あるいは法が内包する思想や根本問題について考えます。また、現代の技術発展により生じる新しい問題についても扱います。法思想・法哲学の観点から、毎回報告者の関心に沿ったテーマを設定し、それに関する書籍等を題材として、報告を行います。原典の輪読や、映像の視聴等も行います。演習参加者は、それらの報告や題材をもとに自身の感想や疑問点を報告者に述べて、全員で議論をします。報告者は議論を踏まえた上で、報告レポートを作成し提出します。

2. 授業の到達目標

- ①自分の関心のあるテーマを見つけ、報告原稿を作成できること。
- ②他者から寄せられた疑問点について、題材から読み取った知見に基づいた応答ができること。
- ③自身の考えを言語化し、他者に対し論理的に説明をすることができること。自身の考えを他者の視点から客観的に考察できること。

3. 成績評価の方法および基準

演習への出席、感想内容、報告内容およびレポート内容を総合的に評価します。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜指示します。

5. 準備学習の内容

報告の際は、題材を読み込んだうえで、十分な準備をしてください。
他の学生の報告の際には、題材とする文献等を必ず読んできてください。
演習は準備学習とレポート作成が7割、演習時間の学習が3割です。全員準備をしてきてください。

6. その他履修上の注意事項

毎回扱うテーマに自分なりに関心を見つけた上で、積極的に参加してください。
他者が報告中の私語およびスマートフォン等の操作を禁じます。

7. 授業内容

【第1回】 報告テーマや報告順については、授業初回において話し合った上で決定しますので、初回は必ず出席してください。

【第2回】 "
【第3回】 "
【第4回】 "
【第5回】 "
【第6回】 "
【第7回】 "
【第8回】 "
【第9回】 "
【第10回】 "
【第11回】 "
【第12回】 "
【第13回】 "
【第14回】 "
【第15回】 "